

研究課題：急性冠症候群に対する冠動脈インターベンション後の予後に関する観察研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月1日から2016年12月31日の期間中に当院で急性冠症候群に対して心臓カテーテル治療を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

心血管病特に冠動脈疾患は本邦の主要な死因の一つであり、高齢化社会において今後もその増加が予想されます。近年経皮的冠動脈インターベンションが発展し、特に急性冠症候群の患者さんでは、その恩恵により予後の改善が認められるようになりました。それと同時に大規模な調査などにおいて、その併存疾患、病変形態、手技の詳細などから予後に関わるものの探求も広く行われてきました。しかしながら、実臨床の現場においては、それら一般的なもの以外にも考慮すべき詳細な因子が数多く存在するのが事実です。特に近年は高齢化社会や生活背景の多様化などから、より現場で考慮すべきことが増加しています。例えば現在様々な分野でフレイル（脆弱さ）などが注目されていますが、冠動脈疾患と予後の関連などは十分に明らかになっていません。今後は、元々の疾患や病変、手技的な背景だけでなく、そういった周辺の要素も考えて患者さんの管理を構築していくことが重要と考えられます。

本研究の目的としては、急性冠症候群に対して冠動脈インターベンションを施行した患者さんの長期的な予後について、従来のような一般的な因子だけでなく、臨床現場に関わる詳細な因子を含めた関連を検索することになります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

下記の情報をカルテより転記いたします。

<情報収集期間：豊田厚生病院治験倫理審査委員会承認日～2019年12月31日>

性別、年齢、身長、体重、BMI、腹囲、診断理由、診断時状況（血圧、心拍数、心不全の程度など）、リスクファクター等（糖尿病・高血圧・禁煙など）の有無、家族歴等
安静時心電図検査、超音波検査、血圧脈波検査、血液検査結果、尿検査結果、
CAG（心臓カテーテル）所見、PCI（経皮的冠動脈形成インターベンション）手技、使用したデバイスなど

4. 外部への試料・情報の提供

対象者の個人情報、連結可能匿名化を行い匿名化した豊田厚生病院のデータベースを作成します。匿名化したデータ（エクセルファイル）は、CD-R に保存し名古屋大学医学部付属病院循環器内科学の個人情報管理者または管理補助者に直接提供し、全参加施設のデータが取りまとめられ解析されます。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学研究科 循環器内科学 室原豊明

安城更生病院 循環器内科 度会正人

一宮市民病院 循環器内科 志水清和

大垣市民病院 循環器内科 森島逸郎

公立陶生病院 循環器内科 浅野博

江南厚生病院 循環器内科 高田康信

豊田厚生病院 循環器内科 篠田政典

岡崎市民病院 循環器内科 田中寿和

岐阜県総合医療センター 循環器内科 野田俊之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

施設研究責任者：豊田厚生病院 循環器内科 CCU 部長 大橋 大器

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科

教授 室原豊明